

# ロシアによるウクライナ侵攻がサイバー危機を引き起こす!?

ロシアによるウクライナ侵攻など、国際情勢が急激に不安定になるなか、日本国内でサイバー攻撃の被害が拡大している。こういった状況を受けて、経済産業省をはじめとした関連省庁は注意喚起を促す文書を公表したが、中小企業はどのように対応すればいいのだろうか。

## サイバー攻撃が急増

2022年に入ってから、これまで以上にサイバー攻撃が拡大している。たとえば、トヨタ自動車はこの2月にランサムウェア（身代金要求型ウイルス）の影響で、国内全工場の稼働を一時停止すると発表。原因は同社に部品を供給するサプライヤー企業で発生したサイバー攻撃だったという。また、エーワン東京では同社が運用する専用システムがサイバー攻撃を受け、顧客、スタッフなどの個人情報流出してしまったそうだ。ほかにも積水ハウス（グループ企業）、ライオン（グループ企業）など、今年に入ってからみずから公表した範囲だけでも30社以上がサイバー被害に遭っており、その手口もランサムウェア、マルウェア、不正アクセスなどさまざまだという。

国内でEMOTET（エモテット）一般的なウイルス対策ソフトで検知しづらくなりたりする機能を持つマルウェア）による被害が拡大している点にも注意が必要だ。実際、情報処理推進機構（IPA）には3月の1週間だけで323件もの相談（2月の1週間の7倍）が寄せられたという。その手口の多くは自社のメールアドレスから送信されたかのようにみせる「なりすましメール」で、ひとたび感染すると、知らず知らずのうちにほかのアカウントに同様のメールを送るだけでなく、ほかのマルウェアをダウンロードしたり、インターネット上のサーバーにパソコン内のデータを送付したりしてしまう恐れがある。

サイバー攻撃の急激な増加の背景にはロシアによるウクライナ侵攻があるかもしれない。実際、複数の専門家が「ウクライナ情勢の悪化によって、世界的にマルウェアの拡散が増加している」と指摘しており、2月下旬にはコンピュータを起動できなくするマルウェアの拡散が確認されている。ランサムウェアと同様、金銭目的の犯行に使われる可能性があるとのことなので、その動向にも注視しなければならぬ。

## 省庁が注意喚起を発表

こうした状況を受けて、経済産業省などの関連省庁は「サイバーセキュリティ対策の強化について（注意喚起）」という文書を発表。「リスク低減の措置」として①パスワードが単純でないかの確認、アクセス権限の確認・多要素認証の利用・不要なアカウントの削除等により、本人認証を強化する②IoT機器を含む情報資産の保有状況を把握する③メールの添付ファイルを不用意に開かない、URLを不用意にクリックしない、連絡・相談を迅速に行うこと等について、組織内に周知するといった対策をあげている。

だが、長年にわたってセキュリティシステムの提案を行ってきた株ブロード（東京都千代田区）によると、DXが推進され、IT資産が増加している今日、すべてのパスワードを頻繁に変更したり、情報資産の保有状況を把握するのはそう簡単なことではないという。また、③についても攻撃側の手口が巧妙化しており、人が仕事をしながらすべてを正確に判別することは困難としている。

では、中小企業はどうすればいいのか。その解決策として注目したいのが「HP Sure Click Enterprise」だ。このシステムを導入すれば、PC本体から独立した「仮想パソコン」で疑わしいファイルを開くこととなるため、マルウェアによる被害を未然に防ぐことができるという。実際にほかのセキュリティ製品をすり抜けたEMOTETのメールをシッカリと隔離したうえで検出し、被害も発生しなかった事例が多数あるそうだ。しかも、発売元のHP社はこのシステムを通じて検知したマルウェアの分析もしており、一時鎮静化したEMOTETの再発前後の差異なども把握しているという。こういったシステムを積極的に活用することが、未曾有のサイバー攻撃から自身を守ることになるのだ。

今までの「常識」は、すでに「非常識」!

もう無駄な時間と費用は「0」にしましょう



HP Sure Click Enterprise

おかげさまで Bromium は HP Sure Click Enterprise に進化しました



エンドポイントのサイバー対策に関する費用や専門家は、もう必要ありません。100%\* 防衛し、レポートします。是非ブロードにお問い合わせください。

\*2013年以降、Bromiumは推計20億以上のMicroVMが実行されましたが、侵害報告件数はゼロです。(Bromium社調べ)

詳細は「BROAD Security Square」で… <https://bs-square.jp/columbus>

株式会社ブロード

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-30 サウスヒル永田町7F  
TEL: 03-6205-7463 (代表)

